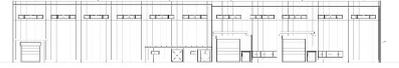


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ティラド泰野製作所G工場新築工事	階数	地上2F
建設地	秦野市曾屋字六反地937番11ほか16筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	29人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2024年7月29日
敷地面積	5,492 m ²	作成者	(株)創和加藤設計
建築面積	4,464 m ²	確認日	2024年7月29日
延床面積	4,768 m ²	確認者	(株)創和加藤設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	工場用途の建物のため隣地及び道路から極力距離を離し、建物高さを必要最低限の高さとする事で周辺環境に配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	LED照明設備を採用することで、消費エネルギーの削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率71%。 屋外広告物照明無しとした。
Q2 サービス性能	空間にゆとりをもたせることで、将来プランニング等の変更しやすいように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材を容易に分別可能とすることで、資材の有効活用に配慮した。 自動水栓及び節水型便器を採用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される